

【専門教育科目領域/専門科目群/公衆衛生看護学】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等					
公衆衛生看護学実習 I	NSP34_009	選択	2	3	後期					
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー						
伊丹 幸子	304	s.itami		月曜日 12:10~13:00						
授業の目的・概要		実習市町村の地域性や保健福祉行政の成り立ちを知り、地域生活集団を対象とし保健師活動のうち、家庭訪問援助、健康相談や保健事業など保健師が対応する地域住民の健康支援ニーズとその支援を実地に体験し、行政サービスとして機能する公衆衛生看護の機能や役割を学ぶ。また、地域住民の健康生活の質向上を目的とした地域づくりの方法を学ぶ。 学校保健や産業保健の場における看護専門職の機能や役割を学び、地域住民の健康の保持・増進に貢献する予防的な看護活動を理解する。								
学習上の助言	地域におけるさまざまな保健師活動の実際を通して、公衆衛生看護の機能や役割を検討する。 また、保健師の実践活動を実地に体験することを通して、自らの看護学への課題を明らかにしてほしい。									
教科書	・最新 公衆衛生看護学 第3版/2023年版 編:宮崎美砂子 他/日本看護協会出版会									
参考書	・公衆衛生看護学 第2版/編:上野昌江、和泉京子/中央法規 ・厚生の指標 増刊 国民衛生の動向 2020/2021/厚生労働統計協会 ・新版 保健師業務要覧 第3版/2018/編:井伊久美子ほか/日本看護協会出版									
学生が達成すべき行動目標		関連卒業認定・学位授与方針								
①	公衆衛生看護が展開される対象と場の特徴を理解できる。									
②	地域／学校集団／産業分野の健康課題を明らかにするための地域アセスメントが実施できる。									
③	市町村の機能と組織体系、保健活動の法的根拠が理解できる。									
④	地域の健康レベルを向上させるための事業や社会資源の開発や施策化を進める保健師の役割について理解できる。									
授業計画										
1 実習時期と期間	9月の2週間									
2 実習施設	市町村実習：都留市等 産業保健：山梨産業保健総合支援センター、牧野フライス									
3 実習の展開										
第1日<学内>	公衆衛生看護学実習Ⅰオリエンテーション ・学校保健実習、産業保健実習 ・市町村実習	学校保健オリエンテーション ・実習支援学校についての事前学習 ・実習準備								
第2日<学内>	学内演習									
第3日<学内>	学内演習	産業保健実習オリエンテーション								
第4日<産業>	産業保健実習①									
第5日<産業>	産業保健実習②									
第5日<学内>	市町村の調査 ・市町村職員によるオリエンテーション ・市の概要、保健福祉行政の説明 ・保健師活動方針説明	市町村の名所探検 家庭訪問（母子／成人／高齢者）の事例説明								
第6日<市町村>										
第8日<市町村>	保健事業への参加（母子保健、介護予防地域づくり等）									
第9日<市町村>	地区を支える場所への訪問 (介護予防ボランティア等)	同行家庭訪問（母子／成人／高齢者）								
第10日<市町村>	実習のまとめ	発表								
学習課題・学習時間（時間）										
公衆衛生看護学の統合した科目です。これまでの学習を復習し臨むことが必要です。住民の健康を守る身近な行政機関である市町村の保健活動について、事前に実習先の市町村のホームページにある健康増進計画又は保健福祉計画を読み把握してください。また、疑問点を整理してください。学校実習は、支援学校の役割、活動等を理解し、公衆衛生看護活動の展開について予習が必要です。また、企業実習では、企業が取り組む従業員の健康管理や維持増進、地域保健との連携についての把握が必要です。										
必要時間：20時間										

【専門教育科目領域/専門科目群/公衆衛生看護学】

総合力指標	総合評価割合 (%)	達成度評価									
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他					
	0	30	20	40	10	100					
	知識・技術力	0	10	0	10	20					
	思考・推論・創造する力	0	10	0	10	20					
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	10					
	発表・表現伝達する力	0	10	0	10	20					
	コミュニケーション力	0	0	10	0	10					
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	10	10					
	問題を発見・解決する力	0	0	0	10	10					
評価のポイント						フィードバックの方法					
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点									
試験	①										
	②										
	③										
	④										
レポート	① ✓	実習の学びについて評価する。実習で学んだことを簡潔明瞭にまとめることができるようする。									
	② ✓										
	③ ✓										
	④ ✓										
成果発表	① ✓	まとめのグループ発表の内容を評価する。									
	② ✓										
	③ ✓										
	④ ✓										
ポートフォリオ	① ✓	日々の記録の充実度や記録のまとめ方を評価する。 わかりやすく正確に作成すること。									
	② ✓										
	③ ✓										
	④ ✓										
その他	① ✓	日々の受講態度等を総合的に評価する。									
	② ✓										
	③ ✓										
	④ ✓										
備考											
他担当教員											
教員の実務経験	保健師として35年勤務し、県職保健師として県庁、保健所、児童相談所、市町村保健師業務を経験している。										
実践的授業の内容	保健所・市町村における行政保健師活動の実務経験を元に内容を構築し、公衆衛生看護について理解を深める。教員の経験からさまざまな事例を取り上げ、教科書と比較しながら学習する。										
その他	<ul style="list-style-type: none"> 毎回対面授業に出席し、積極的な態度で授業に臨むことを重んじる。原則として理由のない欠席はないよう心がけること。 学生の理解度に応じ、対面授業の速度や順番を調整する可能性がある。 教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加は認めない。 状況により Teams をを使った同双向型授業を実施する場合は通信容量無制限の WiFi 環境を推奨する。 本科目は、保健師課程選抜者のみ履修可能である。 										